

議案第 3 2 号

板橋区文化財保護審議会委員の選任について
上記の議案を提出する。

令和 3 年 6 月 2 4 日

提出者 板橋区教育委員会教育長 中川 修一

板橋区文化財保護審議会委員の選任について
下記の案件について審議のうえ選任する。

記

1 委員委嘱

別紙 1 のとおり

2 委嘱期間

令和 3 年 6 月 2 5 日から令和 5 年 6 月 2 4 日まで

(提案理由)

東京都板橋区文化財保護条例（昭和 5 8 年板橋区条例第 1 6 号）第 2 1 条及び第 2 2 条に基づき、委員の委嘱が必要なため。

令和 3 年 6 月 24 日
生涯学習課

板橋区文化財保護審議会委員の選任について

1 板橋区文化財保護審議会委員の選任

令和 3 年 6 月 24 日をもって 2 年間の任期満了となる文化財保護審議会委員
ついて、選任することについて、教育委員会に付議いたします。

2 資 料

- | | |
|------------------------|------|
| (1) 板橋区文化財保護審議会委員名簿 | 別紙 1 |
| (2) 板橋区文化財保護審議会委員候補者調書 | 別紙 2 |

板橋区文化財保護審議会委員名簿

(アイウエオ順)

(令和3年6月25日現在)

No.	区分	氏 名	現 職 等	専門分野	在 任 期 間
1	再任	いしかわ ひでし 石 川 日出志	明 治 大 学 教 授	考古学	平成 17 年 6 月 25 日 から
2	〃	いなぎ よしかず 稲 木 吉 一	女 子 美 術 大 学 教 授	仏教美術	平成 19 年 6 月 25 日 から
3	〃	いりえ のぶこ 入 江 宣 子	民 俗 芸 能 学 会 理 事	民俗芸能	令和 2 年 11 月 2 日 から
4	〃	えんどう ゆりこ 遠 藤 ゆ り 子	淑 徳 大 学 准 教 授	歴史学	平成 27 年 6 月 25 日 から
5	〃	おだいら みか 小 平 美 香	と き わ 台 天 祖 神 社 宮 司	歴史学	令和元年 6 月 25 日 から
6	〃	なかの たつや 中 野 達 哉	駒 澤 大 学 教 授	歴史学	平成 16 年 7 月 6 日 から
7	〃	はたの じゅん 波 多 野 純	日 本 工 業 大 学 名 誉 教 授	建築史	平成 15 年 6 月 25 日 から
8	〃	まつざき けんぞう 松 崎 憲 三	成 城 大 学 名 誉 教 授	民俗学	平成 21 年 6 月 25 日 から

(任期) 令和3年6月25日～令和5年6月24日

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	いしかわ ひ で し	年 齢	
氏 名	石 川 日 出 志		
職業等	明治大学教授	専門分野	考古学
活動状況	<p>○平成9年、明治大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○縄文時代・弥生時代を中心に、全国的に研究を展開。</p> <p>○昭和63年板橋区大門遺跡、平成2・3年同成増との山遺跡第2地点、平成6年同向原遺跡、平成11年同舟渡遺跡第3地点等の発掘調査団長を歴任。</p> <p>○文部科学省文化審議会専門委員(文化財部会)委員 文化庁「埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会」委員 茨城県文化財保護審議会委員 北区文化財保護審議会委員を務め、日本考古学協会会員としても活動。</p> <p>○著書は単著として、『農耕社会の成立』、『弥生時代の発見—弥生町遺跡—』、『弥生のムラから古墳のクニへ』、編著として『考古学ゼミナール 弥生人のまつり』、『展望 日本歴史3 原始社会』ほか論文多数。</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、縄文時代・弥生時代について造詣が深く、また、区内の遺跡発掘調査に対しても調査団長として指導にあたられ、区の原始・古代についても造詣が極めて深い。</p> <p>また、隣接する北区文化財保護審議会委員を務められており、本区の文化財行政に対しても貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	い な ぎ よ し か ず	年 齢	
氏 名	稲 木 吉 一		
職業等	女子美術大学教授	専門分野	仏教美術
活動状況	<p>○平成11年女子美術大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○世田谷区、江東区、豊島区、東村山市、東大和市、福生市、小田原市等の仏像彫刻悉皆調査、新宿区、杉並区、八王子市等の寺院調査に従事。</p> <p>○現在、世田谷区、新宿区、杉並区、東村山市の文化財保護審議会委員を務め、美術史学会、美学会、宗教文化史学会会員としても活動。</p> <p>○著書として、『仏教美術事典』（東京書籍）、『週間日本の仏像』（監修・講談社）、『日本の古寺美術⑩新薬師寺と白毫寺・円成寺』（共著・保育社）、『寧楽美術の争点』（共著・グラフ社）ほか論文多数。</p>		
推薦理由	<p>古代・中世を中心とした日本東洋美術史研究、及び東京を中心に関東地方の仏像彫刻の調査研究に長年携われ、仏教美術に大変造詣が深い。</p> <p>また、新宿区、世田谷区、杉並区と東村山市の文化財保護審議会委員を務められており、周縁区における仏教美術の特性に通じており、本区の文化財行政に対しても貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	いりえ のぶこ	年 齢	
氏 名	入 江 宣 子		
職業等	民俗芸能学会理事	専門分野	民俗芸能
活動状況	<p>○平成11年、民俗芸能学会理事となり現在に至る。</p> <p>○現在、長野県文化財保護審議会委員、東京都府中市史民俗編調査・執筆委員、愛知県犬山祭伝承保存委員会委員、千葉県佐原祭伝承保存委員会委員、長野県千曲市雨宮神事記録作成委員、岐阜県美濃市史民俗編(美濃祭)調査執筆委員、岐阜県大垣祭囃子調査委員、福井県勝山祭・若狭一人翁・若狭戸祝いの調査執筆委員としても活動。</p> <p>○著書・論文として、『天下祭読本』(共編著)、『江戸天下祭絵巻の世界』(共編著)、「若狭の祭礼囃子の系譜」、「江戸祭り囃子とその周辺」、「江戸天下祭の音曲」、「動物風流とつく舞」、「じんやく曲を含む三匹獅子舞」、「三匹獅子舞における岡崎の諸相」ほか多数。</p>		
推薦理由	<p>民俗芸能について極めて造詣が深く、実績も豊富であり、長野県の文化財保護審議会委員なども務めるなど、民俗芸能全般に対する造詣が深い。</p> <p>上記のことから、本区の文化財行政に対しても指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	えんどう ゆり こ	年 齢	
氏 名	遠 藤 ゆ り 子		
職業等	淑徳大学准教授	専門分野	歴史学
活動状況	<p>○平成26年4月 淑徳大学人文学部歴史学科 准教授。</p> <p>○単著は『中近世の家と村落—フィールドワークからの視座—』、『戦国時代の南奥羽社会』、『東北の中世史4』など、中近世移行期の村落研究を対象とした分析に実績がある。</p> <p>○所属学会 歴史学研究会・地方史研究協議会・東国戦国史研究会ほか</p>		
推薦理由	<p>区内所在大学の歴史学科に在籍し、地域史研究にもあたるなど、区内の文化財に関する研究を行っている。国内における中世・近世に関する研究実績があり、中世史・近世史に造詣が深い。</p> <p>上記のことから、本区の文化財行政に対しても指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	おだいら み か	年 齢	
氏 名	小 平 美 香		
職業等	宮司、大学非常勤講師、日本文化研究所研究員	専門分野	歴史学(日本思想史)
活動状況	<p>○学習院大学講師(非常勤)(文学部哲学科)</p> <p>○学習院女子大学講師(非常勤)(国際文化交流学部日本文化学科)</p> <p>○國學院大學講師(兼任)(教育開発推進機構・神道文化学部)</p> <p>○白百合女子大学非常勤講師(文学部国語国文学科)</p> <p>○國學院大學研究開発推進機構共同研究員(日本文化研究所)</p> <p>専門は日本思想史(近代宗教行政、女子教育)である。</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、ときわ台天祖神社の宮司である。板橋区に生まれ、歴史研究に携わり、とくに『女性神職の近代』、『昭憲皇太后からたどる近代』などの単著があり、近代宗教行政・女子教育などの第一人者である。</p> <p>板橋区指定文化財の「神田流神明囃子」の保存会に所属し、無形文化財の継承者の一人である。ときわ台天祖神社所蔵の有形文化財の管理者である。</p> <p>区の文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	なかの たつや	年 齢	
氏 名	中 野 達 哉		
職業等	駒澤大学教授	専門分野	歴史学
活動状況	<p>○平成20年、駒澤大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○平成2年から板橋区史編さん調査会近世部会専門委員、平成6年からは同専門主査として区史編纂事業に携わる。</p> <p>○平成3年以降、区内の「安井家文書」、「飯田侃家文書」の調査・資料整理を担当。</p> <p>○墨田区、武蔵野市、三鷹市の文化財保護審議会委員を務める。</p> <p>○板橋区に関わる業績・著作として、『板橋区史資料編3』及び『板橋区史通史編上巻』『近世編』の執筆編集、「新出の安井家文書の調査経過と課題」(『いたばし区史研究』創刊号)、「下板橋宿名主飯田侃文書について」(『同』第4号)、「近世初頭武蔵における板倉勝重の検地と代官支配」(『同』第6号)、「江戸周辺地域在村百姓の武家接近活動」(『板橋区立郷土資料館紀要』13)、「近世前期中山道板橋宿の名主・問屋役について」(『駒沢史学』55号)、「江戸周辺農村における武家抱屋敷と地域社会」(『関東近世史研究』39)などがある。創刊号)、「下板橋宿名主飯田侃文書について」(『同』第4号)、「近世初頭武蔵における板倉勝重の検地と代官支配」(『同』第6号)、「江戸周辺地域在村百姓の武家接近活動」(『板橋区立郷土資料館紀要』13)、「近世前期中山道板橋宿の名主・問屋役について」(『駒沢史学』55号)、「江戸周辺農村における武家抱屋敷と地域社会」(『関東近世史研究』39)などがある。</p>		
推薦理由	<p>平成2年以来7年にわたり区史編纂事業に携わられるとともに、区内古文書調査を担当され、区の歴史、特に近世史に詳しく造詣が深い。</p> <p>墨田区などの文化財保護審議会委員を務めており、周縁区の歴史や文化財に関しての精通し、当区の文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	は た の じゅん	年 齢	
氏 名	波 多 野 純		
職業等	日本工業大学名誉教授 波多野純建築設計室 代表	専門分野	建築史
活動状況	<p>○平成3年、日本工業大学教授となり、学長を経て、平成29年退職。</p> <p>○平成10年「江戸城Ⅱ〈侍屋敷〉」で建築史学会賞受賞。</p> <p>○平成12年度、板橋区文化財保護審議会臨時委員として「松月院大堂」の調査を実施。平成14年度「粕谷家住宅調査」、平成17年度「文化財墨書資料赤外線撮影」、平成18年度「大堂鐘楼調査」「大日本・インキ化学工業建物調査」、平成19年度「常盤台・斯波家住宅調査」、「小茂根大野家住宅」、平成20年度「旧粕谷家住宅調査」、「徳丸篠田家住宅調査」、平成21年度「志村熊野神社絵馬殿調査」を委託するとともに、都近代和風建築調査の板橋区域担当委員として、「安養院庫裡」、「板五米店」「志村斎藤商店」の調査を実施。平成27年～平成29年度旧粕谷家住宅復元工事ならびに保存活用計画作成。</p> <p>○埼玉県文化財保護審議会委員、建築史学会常任委員としても活動。</p> <p>○著書として『江戸城Ⅱ 一城郭・侍屋敷古図集成ー』、『復原・江戸の町』ほか多数。</p>		
推薦理由	<p>建築学、特に建築史分野において造詣が深く、実績も豊富であるとともに、埼玉県において文化財保護審議会委員を務めている。平成12年度以来、区内の建築調査を数多く実施し、とくに旧粕谷家住宅の復元工事にあたった。なお、平成30年からは史跡陸軍板橋火薬製造所跡保存活用計画・整備基本計画策定委員会の委員長を務めている。以上、当区の文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和3年6月25日現在

ふりがな	まつざき けんぞう	年 齢	
氏 名	松 崎 憲 三		
職業等	成城大学名誉教授	専門分野	民俗学
活動状況	<p>○平成6年成城大学教授、平成30年退職。</p> <p>○平成2年から同12年にかけて板橋区史編さん調査会民俗部会部会長を務める。</p> <p>○日本民俗学会、日本民族学会、日本民具学会</p> <p>○著書として、『巡りのフォークロア 遊行仏の研究』(名著出版)、『現代社会と民俗』(名著出版)、『現代供養論考 ヒト・モノ・動植物の慰霊』(慶友社)、『ポツクリ信仰 長寿と安楽往生祈願』(慶友社)、『地蔵と閻魔・奪衣婆 現世・来世を見守る仏』(慶友社)、</p> <p>『民俗信仰の位相 変質と多様性をさぐる』(岩田書院)、『同郷者集団の民俗学的研究』(編著・岩田書院)など多数</p> <p>○練馬区文化財保護審議会委員</p> <p>○板橋史談会会長</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、民俗学において造詣が深く、実績も豊富であるとともに、平成2年から12年にかけて区史編さん調査会民俗部会部会長を務め、当区の文化財についても詳しい。また、国文化審議会専門委員を歴任した。令和3年からは、板橋史談会会長に就任した。以上、区内外の活動歴を含め、文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

